

1. 科目名(単位数)	ボランティア論 (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	曾根原 和明		
4. 授業形態	講義(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	<p>本科目は、社会教育主事資格における選択科目として、地域課題の把握や住民参加、協働による課題解決の在り方を学ぶ基礎となる。地域づくりや社会教育活動を企画・運営する際の視点を広げる科目である。また、教職課程共通科目としては選択科目に位置付けられている。学校教育におけるボランティア活動や地域連携の意義を理解することは、教員として地域社会と協働する視点を養ううえで重要である。高等学校公民科教諭養成課程の選択科目として、市民社会、公共性、参加と自治といった内容との関連が深い。ボランティア活動を通して、現代社会における公共の形成や市民の役割について具体的に理解を深めることができる。</p>		
7. 講義概要	<p>今日、わが国においてボランティア活動は大きな注目を集めている。阪神・淡路大震災においてボランティアの貢献度が新たに見直され、以後、学問的なボランティア論としての研究も活発になされるようになった。ボランティア活動は今日、様々な内容に拡大化、多様化しているが、同時にいくつかの課題も浮き彫りにされてきている。本講義において、福祉ボランティアを中心に、活動の現状と課題を探り、今後ボランティアコーディネーターとしての活躍も期待されている福祉系の学生が、必要な知識を会得するよう、講義、視聴覚教材、受講生による発表とディスカッションを通して学習する。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになる。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになる。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深める。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができる。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<p>本科目では、ボランティアに関する理論的理解と主体的な参加意識の形成を目的として、事前課題・事後課題および期末レポートを課す。</p> <p>(1) 事前課題 各回の授業内容に関連する自身の体験や地域の実態を振り返り、簡潔にまとめて提出する。体験を手がかりとして授業内容を主体的に理解することを目的とする。</p> <p>(2) 事後課題 各回終了後に、授業内容の要点を整理する振り返り課題を課す。基礎的理解の確認と学習内容の再構成を目的とする。</p> <p>(3) 期末レポート 本科目全体の学習を踏まえ、ボランティア活動の意義・可能性・限界および今後の関わり方について論じる期末レポートを課す。</p> <p>事前学習および事後課題の提出は、いずれも次回授業日の前々日までとする。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>杉本敏夫監修・田中康雄編著・小口将典編著・竹下徹編著『ボランティア活動論』ミネルヴァ書房、2023。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになったか。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになったか。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深めることができたか。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができたか。 <p>○評定の方法 授業への積極的参加度 40% 課題レポート 30% 期末評価(レポート・試験等) 30%</p> <p>※ 東京福祉大学の学則(第36条)に則り、成績評価に必要な出席時間数を満たしていない受講生の評価は行わない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本講義では、ボランティアを単なる「善意の活動」としてではなく、社会における生活課題の解決に関わる実践として理論的に捉えることを重視します。ボランティアの歴史や概念、活動の現状と課題を学ぶことを通して、社会の仕組みの中でボランティアがどのような役割を果たしているのかを多面的に理解してください。</p> <p>第一に、自分の体験や身近な地域の課題と結び付けて考える姿勢を大切にしてください。本講義では毎回、体験を手がかりとした事前課題を課しています。理論を自分事として捉えることが、主体的な学びにつながります。</p> <p>第二に、ボランティアの可能性だけでなく限界にも目を向ける視点をもってください。支える・支えられる関係性、専門職との役割分担、継続の困難さなどを冷静に考察することが、将来ボランティアコーディネーターとして活動する際の基盤となります。</p> <p>第三に、他者と対話しながら理解を深める姿勢を重視してください。本講義はディスカッションを含む形式で進めます。多様な意見に触れ、自らの考えを言語化し、再構成することが学習の質を高めます。</p> <p>ボランティアは「他者のための活動」であると同時に、「社会の一員として自分がどう生きるか」を問い直す営みでもあります。本講義を通して、自らの立場や将来の関わり方を主体的に構想してください。</p>		
13. オフィスアワー	<p>授業内(初回授業)で周知する。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	第I部 ボランティアに関する概念	事前学習	身近な地域で見聞きした「困りごと」を挙

	テキスト「第1章 社会における生活課題の解決についてのボランティアの存在」 現代社会における生活課題の実態を把握する。行政・福祉サービスだけでは解決が難しい背景を理解し、ボランティアが果たす補完的役割と協働の意義を考える。		げ、どのような支援が考えられるかを簡単に書いてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● 授業内容を踏まえ、行政・福祉サービスだけでは解決が難しい理由をまとめてください。
第2回	テキスト「第2章 ボランティアとは」 ボランティアの概念と特徴(自発性・無償性・公共性など)を整理する。NPO法制定など制度的背景を踏まえ、現代日本における活動の広がりを理解する。	事前学習	「ボランティア」と聞いて思い浮かぶ活動を三つ書いてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティアの特徴(自発性・無償性・公共性など)について、最も重要だと思うものとその理由を簡潔に書いてください。
		事後学習	
第3回	テキスト「第3章 ボランティアの歴史」 西洋および日本におけるボランティアの歴史的展開を学ぶ。助け合いの思想の変遷を通して、現代の活動との連続性を考察する。	事前学習	日本で行われてきた助け合いの例を調べ、名称のみ書いてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティアの歴史を学ぶ意義について、まとめてください。
		事後学習	
第4回	テキスト「第4章 ボランティアに関する研究動向」 ボランティア研究の動向を概観する。社会学・心理学・教育学など多分野からのアプローチを理解し、ボランティア研究の意義と課題を整理する。	事前学習	ボランティア活動が研究対象となる理由を自分なりに考えて書いてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティア研究が多分野から行われる理由を簡潔にまとめてください。
		事後学習	
第5回	第II部 ボランティアの活動の範囲とボランティアへの参加に向けて テキスト「第5章 ボランティア活動の範囲」 ボランティアを構成する価値観と活動範囲を学ぶ。自発性や利他性などの概念を整理し、組織化や国際化の動向を理解する。	事前学習	自分が「自発的に行った活動」を思い出してきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティアの価値観の中で重要だと感じたものを挙げてください。
		事後学習	
第6回	テキスト「第6章 ボランティア活動の探し方」 ボランティア活動の探し方や相談先、登録方法を学ぶ。活動開始までの具体的プロセスを理解し、参加への見通しをもつ。	事前学習	テキスト pp.62-65 を参照の上で、参加してみたいボランティア分野を挙げてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティア活動を始める際に大切だと思う視点を書いてください。
		事後学習	
第7回	テキスト「第7章 ボランティア活動に臨むために」 ボランティア活動の多面性とマッチングの意義を理解する。活動に臨む際の心構えや責任、継続の課題について考える。	事前学習	継続できなかった活動体験があれば思い出してきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティアを継続するために必要なことを挙げてください。
		事後学習	
第8回	テキスト「第8章 地域課題の発見に向けて」 地域課題の発見と整理の方法を学ぶ。ボランティアが地域共生社会や地域包括ケアの中で果たす役割を理解する。	事前学習	自分の住んでいる地域の課題を考えてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● ボランティアが地域課題とどのように関わるかをまとめてください。
		事後学習	
第9回	第III部 ボランティア活動の実践 テキスト「第9章 子どもと子育て世代に対するボランティア活動」 子どもおよび子育て世代を対象とするボランティア活動の実際を学ぶ。自治体や民間団体との連携の在り方を理解する。	事前学習	子どもや子育てで家庭が抱える課題を挙げてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● 子ども支援におけるボランティアの役割を簡潔にまとめてください。
		事後学習	
第10回	テキスト「第10章 障がいのある人や高齢者等の様々な人に対するボランティア活動」 障がいのある人や高齢者を支えるボランティア活動を学ぶ。専門職との連携や情報提供の重要性を理解する。	事前学習	高齢者や障がいのある方への支援で大切だと思うことを書いてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● 専門職とボランティアの違いをまとめてください。
		事後学習	
第11回	テキスト「第11章 災害時のボランティア活動」 災害時ボランティアの役割と課題を学ぶ。支援活動の意義と注意点を整理し、災害と地域の関係を考察する。	事前学習	災害時に自分ができる支援を考えてきてください。 ● 学習目標に照らした自己評価 ● 災害ボランティアで注意すべき点を挙げてきてください。
		事後学習	

第12回	テキスト「第12章 地域・まちづくりとボランティア活動」	事前学習	地域活動に参加した体験があれば思い出してください。
	地域・まちづくりとボランティア活動の関係を学ぶ。住民自治と協働の視点から地域参加の意義を理解する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標に照らした自己評価 地域・まちづくりに参加する意義をまとめてください。
第13回	テキスト「第13章 ボランティアと教育」	事前学習	学校で行われたボランティア活動を思い出してください。
	ボランティア教育の必要性と実践方法を学ぶ。知識や責任感を育てる教育の在り方を考える。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標に照らした自己評価 ボランティア教育に必要な要素を挙げてください。
第14回	テキスト「第14章 グローバルな視点による海外ボランティア」	事前学習	海外ボランティアに対するイメージを簡単に書いてきてください。
	国際協力と海外ボランティアについて学ぶ。ODAやJICAの仕組みを理解し、グローバルな視点でボランティアを捉える。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標に照らした自己評価 国際協力とボランティアの関係をまとめてください。
第15回	テキスト「第15章 ボランティアの力とボランティア活動による学びと喜び」	事前学習	これまでの学習で印象に残っているテーマを挙げてください。
	ボランティア活動の力と可能性、限界を整理する。支える・支えられる関係性や学びと喜びの相互性を確認し、今後の実践への展望を考える。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標に照らした自己評価 期末レポート 本科目全体の学習を踏まえ、次の3点についてそれぞれ論じなさい。 ① ボランティア活動の社会的意義とは何か。(行政・福祉サービスとの関係や補完性などの視点を踏まえること) ② ボランティア活動の可能性と限界は何か。(支える・支えられる関係性、継続性、専門職との違いなどに触れること) ③ 今後、自分はどのようにボランティアと関わっていきたいか。(授業で扱った理論的視点〔概念・歴史・活動範囲・実践領域など〕を少なくとも一つ用い、自身の体験や具体的事例と関連付けて述べること) ①②③について、それぞれ500字程度を目安に論じること。